

2021年3月期 第2四半期決算補足資料

(2020年4月1日～2020年9月30日)

1. 2021.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'21.3期2Q 実績	'20.3期2Q 実績	前年同期比		'21.3期 通期予想 (9/24発表)	進捗率
			増減	増減率		
売上高	13,533	15,555	-2,022	-13.0%	26,650	50.8%
営業利益	718	2,150	-1,431	-66.6%	550	130.7%
経常利益	1,098	2,471	-1,373	-55.6%	1,400	78.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	976	-10,766	+11,742	-	1,150	-
研究開発費	3,535	3,007	+527	+17.5%	7,400	47.8%
研究開発費率	26.1%	19.3%	+6.8pt	-	27.8%	-
営業利益率	5.3%	13.8%	-8.5pt	-	2.1%	-
1株当たり四半期純利益(円)	17.30	-190.86	+208.16	-	20.38	-
設備投資額	956	361	+595	+164.6%	2,300	41.6%
減価償却費	388	1,452	-1,063	-73.2%	800	48.6%
期中平均レート(US\$/円)	106.92	108.63	-1.71	-	※ 105.00	-

※第3Q以降前提

＜前年同期比との増減要因＞

売上高： 国内医薬品の薬価引き下げに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う

(-2,022) 外来受診の減少などの影響を受け、減収。

営業利益： 減価償却費や販売促進活動に係る費用の見直しなどによる営業関連費の減少があった一方で、

(-1,431) 減収及び研究開発費の増加等により、減益。

四半期純利益： 前年同期は医薬品事業に係る固定資産の減損損失の計上があったことなどから、

(+11,742) 今期は黒字転換。

2. 2021.3期 通期業績予想

(百万円)

	'21.3期 通期予想 (9/24発表)	'20.3期 実績	前期比	
			増減	増減率
売上高	26,650	28,642	-1,992	-7.0%
営業利益	550	1,960	-1,410	-71.9%
経常利益	1,400	3,981	-2,581	-64.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,150	-10,839	+11,989	-
研究開発費	7,400	6,877	+522	+7.6%
研究開発費率	27.8%	24.0%	+3.8pt	-
営業利益率	2.1%	6.8%	-4.7pt	-
1株当たり当期純利益(円)	20.38	-192.15	+212.53	-
設備投資額	2,300	2,109	+190	9.1%
減価償却費	800	1,778	-978	-55.0%
期中平均レート(US\$/円)	※ 105.00	108.75	-	-

※第3Q以降前提

＜前期実績との差異＞

売上高： 国内医薬品の薬価引き下げや第1四半期における新型コロナウイルス感染症拡大による

(-1,992) 国内外の販売減少により、減収を見込む。

営業利益： 減価償却費や営業関連費用の減少があるものの、

(-1,410) 減収に加え、研究開発費の増加などにより減益を見込む。

当期純利益： 今期は減損損失の計上がなく、黒字転換を見込む。

(+11,989)

①2021.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'21.3期2Q 実績	'20.3期2Q 実績	前年同期比		'21.3期 通期予想 (9/24発表)	進捗率
			増減	増減率		
【医薬品事業】	10,234	12,236	-2,002	-16.4%	20,250	50.5%
国内医薬品	6,278	7,260	-982	-13.5%	12,100	51.9%
海外医薬品	3,006	4,439	-1,433	-32.3%	6,300	47.7%
医薬品原体・ 医薬品受託製造	948	535	+413	+77.1%	1,850	51.2%
【LAL事業】	3,299	3,319	-20	-0.6%	6,400	51.5%
合計	13,533	15,555	-2,022	-13.0%	26,650	50.8%
(海外売上高)	6,185	7,216	-1,030	-14.3%	12,800	48.3%

＜主要製品の販売状況＞

- ・国内アルツ: 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外来受診の減少により、市場全体が縮小し、医療機関納入本数は減少。
当社売上高は薬価引き下げの影響もあり、減少。
(前年同期比 市場-10.1%、アルツ医療機関納入本数 -8.0%、アルツ市場シェア +1.3pt)
- ・オペガン類: 新型コロナウイルス感染症拡大により、白内障手術件数が減少し、市場全体が縮小したが、競合品の出荷調整があったことにより、医療機関納入本数及び市場シェアが伸び、当社売上高も増加。
(前年同期比 市場-13.7%、オペガン類医療機関納入本数 +5.6%、オペガン市場シェア +9.9pt)
- ・ヘルニコア: 新規採用施設の増加により医療機関納入本数が着実に増加したが、当社売上高は前年同期に出荷が多かったこともあり、減少。
- ・米国向けジェル・ワン: 米国における緊急を要さない医療措置延期などにより、現地販売本数は4月、5月に大きく落ち込んだが、経済活動の再開に合わせて回復基調。
当社売上高は第1四半期に出荷が少なかったこともあり、減少。
(前年同期比 現地販売数量 約+5.0%)
- ・米国向けスパルツFX: 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、単回投与や3回投与などの少数回投与製品が選好される傾向が継続していることにより、現地販売本数及び当社売上高は減少。
- ・中国向けアルツ: 一部地域において新型コロナウイルス感染症の影響が見られ、現地販売本数は減少。
当社売上高は包装資材の変更対応で販社への出荷調整もあり、減少。
- ・LAL事業: 国内販売の減少を海外子会社のアソシエーツ オブ ケープ コッド インクのグルカン測定体外診断用医薬品の販売増でカバーし、前年同期並み。

②2021.3期 通期業績予想

(百万円)

	'21.3期 通期予想 (9/24発表)	'20.3期 実績	前期比	
			増減	増減率
【医薬品事業】	20,250	22,166	-1,916	-8.6%
国内医薬品	12,100	13,679	-1,579	-11.5%
海外医薬品	6,300	7,466	-1,166	-15.6%
医薬品原体・ 医薬品受託製造	1,850	1,019	+830	+81.4%
【LAL事業】	6,400	6,476	-76	-1.2%
合計	26,650	28,642	-1,992	-7.0%
(海外売上高)	12,800	12,913	-113	-0.9%